

高知のキャリア教育(高等部)

- ◇自己理解の深化と自己受容
- ◇選択基準としての勤労観・職業観の確立
- ◇将来設計の立案と社会的移行の準備
- ◇進路の現実吟味と試行的参加

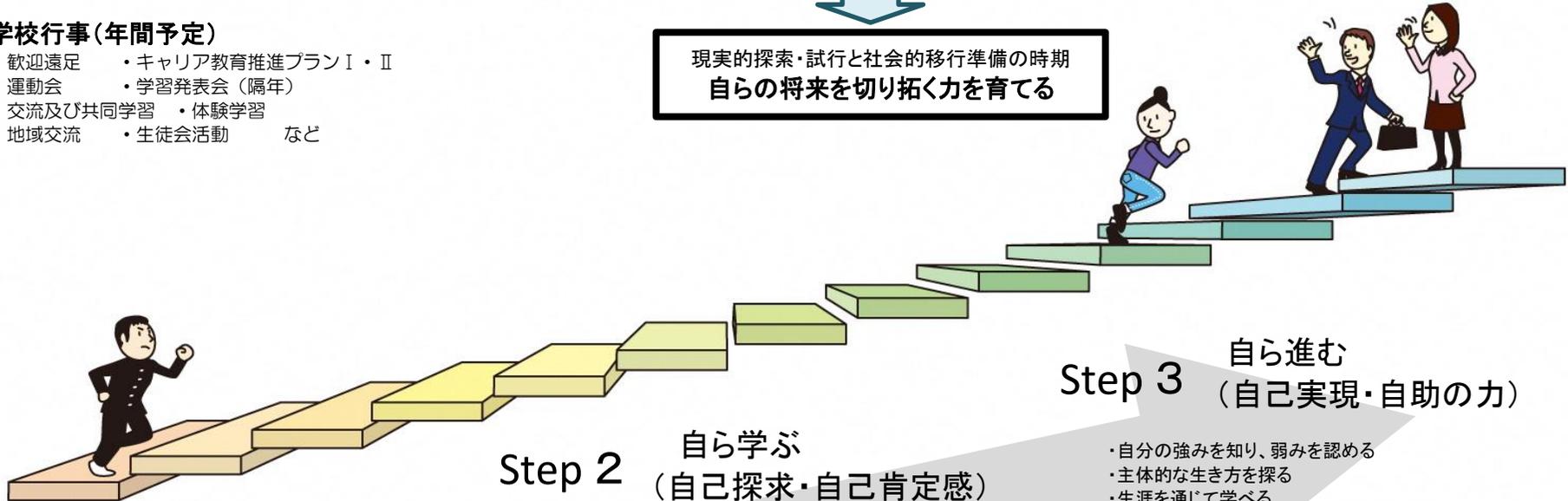
本年度の教育重点目標
高等部

- ①学習意欲の向上と学習習慣の確立を図り、主体的に学習に取り組む態度を養う。
- ②社会人として必要な基礎的知識と技能を習得し、課題解決に取り組む力を養う。
- ③周囲の状況を把握して、他者の立場からの視点で物事を考える態度を育てる。
- ④豊かなコミュニケーションを基盤として、主体的に社会参加することができる力を養う。

学校行事(年間予定)

- ・歓迎遠足
- ・キャリア教育推進プランⅠ・Ⅱ
- ・運動会
- ・学習発表会(隔年)
- ・交流及び共同学習
- ・体験学習
- ・地域交流
- ・生徒会活動
- など

現実的探索・試行と社会的移行準備の時期
自らの将来を切り拓く力を育てる



Step 1 自他を考える
(自己理解・自己管理)

- ・自己と向き合い、課題を探る
- ・社会的立ち位置、役割を自覚し、能力・適性を考える
- ・他者の価値観や個性、心情を理解し、自己と比較する
- ・「すべきこと」「やりたいこと」の優先順位を考え、両立を図る
- ・目標、見通しのある計画を考え、行動する
- ・様々な体験活動を通じて価値観の広がりを獲得する
- ・新たな環境に適応し、望ましい人間関係を構築する

Step 2 自ら学ぶ
(自己探求・自己肯定感)

- ・将来像をもち、自分の能力・適性を吟味する
- ・自分に挑戦し、高め、深め、振り返り、評価する
- ・理由や根拠をふまえて行動できる
- ・課題克服のための手段や行動を探る
- ・学んだことを様々な場面で活用する
- ・多様な場面でのコミュニケーション手段の確立
- ・自学により学習内容の確実な定着方法を探る
- ・「教わる」から「学ぶ」へ(主体的態度の伸長)
- ・与えられることを知り、周りに与えていけることを考える
- ・社会の常識・ルール・マナーを踏まえ、判断して行動できる
- ・勤労観、職業観の形成を図り、広げる

Step 3 自ら進む
(自己実現・自助の力)

- ・自分の強みを知り、弱みを認める
- ・主体的な生き方を探る
- ・生涯を通じて学べる
- ・将来設計など長期にわたる展望に対し、「すべきこと」理解し、見通しをもって取り組むことができる
- ・葛藤・経験等を通し、課題解決するスキルの獲得
- ・多面的・多角的に情報を集め、活用できる
- ・支援者・支援機関を知り得て、一定の安心感を得る
- ・やりとりの力を身につけ、相互の関わりを深める
- ・広い視野で物事をとらえ、自ら働きかける
- ・理解し合い高めあう

キャリア教育の事例

中学部キャリア教育の事例も含め・・・

学力向上・・・将来の仕事に役立つ知識・技術の学習(学ぶ・働く理由、必要な支援を適切に求めたり相談できる表現力、チームワーク、プレゼンテーション) 自分史(行動パターン、価値観、個性、能力、夢や希望) 自己の進路を考える自己啓発(様々な職業の存在、インタビュー、情報探索、雇用形態、就業体験学習、進路学習会、資格検定試験への挑戦、模擬試験、学力補習) 自己の進路を開拓する自己実現(会社・大学等訪問・お礼状作成、進学・就職に向けたスケジュール、求人票チェック、企業・大学等チェック、会社・大学等訪問、履歴書、就職試験・面接に向けて、社会人としての意識と態度、学ぶことの重要性)

基本的な生活習慣の確立・・・人権教育 健康教育(調理学習、危険認知、性教育、医療、事故、災害、余暇・地域生活、ストレスの解消) TPOに応じた言動 社会人としてのマナー 進路先・職業生活に必要な習慣形成 **社会性の育成**・・・法や制度の理解(障害について、福祉制度、就労支援施設、障害者福祉のしおり、行政サービス、障害者の雇用の促進等に関する法律[障害者雇用促進法]、労働基準法、就労や生活に関する関連機関など) 消費生活の理解(労働と報酬の関係、計画的な消費、金銭管理) 自己理解(障害の理解、自分の適性と進路選択、進路希望調査、職業適性検査、職業ガイダンス) 自己調整(課題解決の為の選択肢の活用、自己PR、ライフプランの作成、豊かな人間関係を築くために)